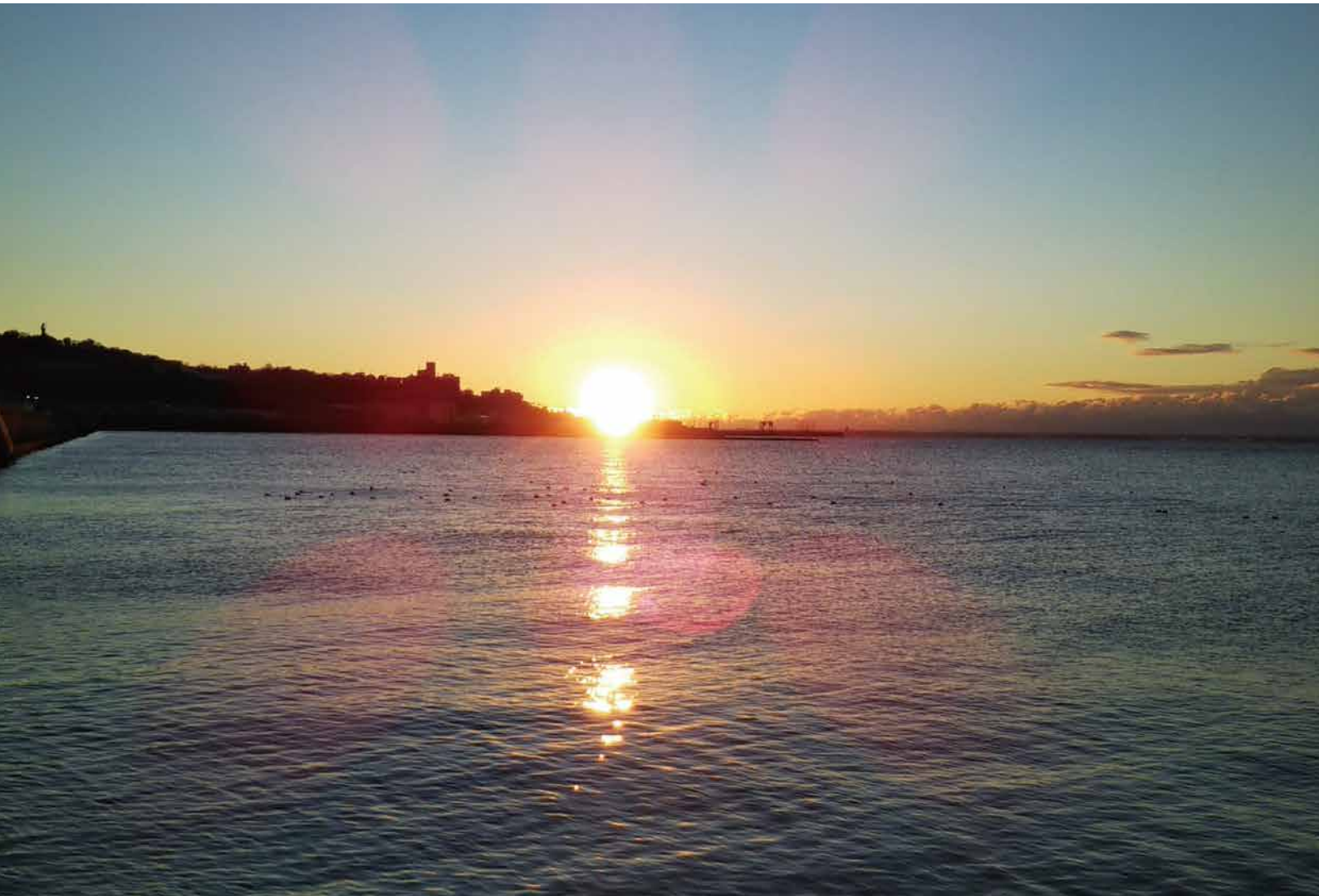


がまこおり 議会 だより

12月市議会定例会

一般質問…ここが論点	2～7
議決された主な議案	8～10
委員会通信	11
議会日誌、3月定例会予定等	12

NO. 118
2023.2



一般質問…ここが論点



詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧になれます。

12月定例会

12月市議会定例会中、12月2日、5日、6日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館等でご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。

日程	議員名	主な質問の項目
12月2日(金)	日恵野 佳代	市内経済の振興 <u>子どもに砂場とプールのある環境を</u> 高齢者とその家族への市の文書や手続をわかりやすくする
	大須賀 林	<u>リーディングプロジェクト 第51代横綱玉の海 三河湾スカイラインの活用</u>
	新 実 祥 悟	市内の保育園及び認定こども園 <u>教育プールの設置</u>
	牧 野 泰 広	<u>MRI（磁気共鳴画像診断装置）の更新</u> <u>不登校児童・生徒の増加傾向に伴う対策</u>
	青 山 義 明	<u>通学路交通安全プログラムと交通安全プログラム推進室</u> <u>子ども会</u>
12月5日(月)	柴 田 安 彦	<u>市営住宅</u> <u>市営の合葬墓設置</u> <u>竹島パルクの土地</u>
	竹 内 滋 泰	<u>令和5年度の予算編成</u>
	鈴 木 基 夫	<u>環境・経済政策</u> <u>公契約条例</u>
	尾 崎 広 道	<u>観光道路等の維持管理</u> <u>市道西名田的場1号線及び西浦堂前浜田1号線（(仮称)形西線）の横断歩道</u> <u>鹿島大橋東交差点（国道247号とカインズモール進入路との交差点）の信号機</u>
	大 向 正 義	「イマジン ウェルビーイング がまごおり」 <u>旧統一教会</u>
鎌 田 篤 司	<u>近隣市町との連携強化</u> <u>SGグランプリレースの開催の可能性</u> <u>新型コロナウイルス感染症への対応</u>	
12月6日(火)	鈴 木 貴 晶	<u>学校生活における環境の改善</u> <u>マイナンバーカード</u>
	喚 田 孝 博	<u>東港地区のまちづくり</u> <u>学校教育</u>
	藤 田 裕 喜	<u>森林空間の活用</u> <u>友好都市</u>
	大 場 康 議	<u>市の農業振興施策の今後の取組</u>
	松 本 昌 成	<u>在宅ターミナルケア支援</u> <u>出産・子育て応援交付金</u> <u>小中学校体育館のエアコン設置</u>

※下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています。

問 市内の事業者で、コロナ禍に融資を受けて、前ほどには回復していない中で返済が始まると本当に苦しいという声がある。

答 コロナ禍の支援として行われた、いわゆるゼロゼロ融資について、市内の申請状況等、市が把握する内容を伺う。

問 愛知県信用保証協会の保証承諾件数によると、市内事業者に対しては、令和2年度から通算して1095件、約183億円の融資が実行された。うち、4年10月末時点で99件が完済、約35億円が返済されたと聞いている。

答 金融機関へのヒアリングによれば、余力のあるうちに融資を受けた事業者は比較的問題ないが、緊急的に融資

コロナ禍や物価・原材料の高騰の影響



日恵野佳代
無会派・
日本共産党

市民プールの再建について

問 市民プールの再建の話がなかなか進まない。考えを伺う。

答 4年3月の公共施設マネジメント実施計画の見直しの際に、13年度までに学校プールの状況等を踏まえて検討することとした。

問 現在策定作業を進めている「学校プールのあり方」の検討結果を踏まえ、将来の施設整備計画の中で市民プールの建設についても検討をしていきたい。





大須賀 林
自民党市議員

リーディングプロジェクトについて

問 全市利用型施設のリーディングプロジェクトとは。

答 蒲郡駅周辺エリアにおいて、図書館、ホール、生涯学習センター機能を核とした様々な機能が融合した市民の居場所、活動拠点となる場の形成の検討を進めている。現在は、基本構想・基本計画の策定中で、ワークショップなど市民参加による検討を進めている。

第51代横綱玉の海について

問 郷土の誇りである横綱玉の海関の資料を、常設の展示場を整備して展示できないか。

答 現在も市民体育センターに展示しているものがあるが、他にも常設展示できるものが



三河湾スカイラインからの眺め

あれば展示資料の充実を図っていききたい。

問 本市に偉大な横綱がいたことを次世代に伝えるべく検討をお願いしたい。市の考えは。

答 玉の海関の姿やその人柄を、市民や関係者と共にしっかりと子供たちに伝えていきたい。

三河湾スカイラインの活用について

問 WRC等のラリー競技を開催できないか。

答 開催可能性は未知数だが、開催には道路管理者の県や沿道の宿泊施設との十分な調整が必要と認識している。今後関係機関と相談しながら活用方法を検討していきたい。



新実祥悟
市政クラブ

市内の保育園及び認定こども園について

問 旧塩津北保育園跡地にできる新しい乳幼児保育施設の概要は。

答 ゼロ歳児から2歳児を保育する民間の小規模保育施設になる。運営は鹿島こども園を運営する学校法人明陸学園が実施し、施設の名称は「むつみの丘」。

令和5年4月1日に開園予定。保育時間は、延長保育を含めると平日は午前7時30分から午後7時まで、土曜は午後2時まで。定員は19名で、11月1日時点で計12名の入園申込みがあったと聞いている。

教育プールの設置について

問 現在の市の民間プール事業者は二者であるため、水泳授業を受け入れるキャパシティ

や施設の位置関係等を踏まえても、民間施設を活用した水泳授業の拡大展開には課題があると感じている。その課題解決のためには、新たな教育プール施設を設置し、活用すべきであると思う。その点について考えを伺う。

答 現時点では、具体的な方向性を示せる段階にはない。

民間事業者の受け入れるキャパシティや位置関係等の課題については指摘の通りかと思う。議員より提案の水泳授業のための新たなプール拠点の設置については、検討材料の一つとしながら現在検討しているところである。



牧野泰広
自由クラブ

MRI検査を用いた健診事業について

問 DWIBS検査のメリットや導入の実現性について伺う。

答 DWIBSは、日本医学放射線学会放射線科専門医高原太郎氏らが考案した検査法で、一度のMRI検査でほぼ全身のがんを見つける方法。他の画像検査では判別しにくい筋肉や脳神経系等のがん診断に適しているとも言われている。放射線被ばくの恐れがない、造影剤の注射がなく体への負担が少ない、糖尿病等でも検査が可能等のメリットが挙げられる。現在、県内の公立病院での事例はないため、できるだけ早い実施体制を目指したい。

問 不登校等の対策としてスクールソーシャルワーカーの導入が必要ではないか。

答 学校と家庭を福祉的視点でつなぎ、関係機関等との協力体制を構築できるソーシャルワーカーの導入を考えている。まずは学校教育課に1名配置し、将来的にはすべての中学校区に配置したい。

問 教室には入れないが登校できる児童生徒が気軽に過ごせる校内フリースクールの設置の考えはないか。

答 現在、調査・研究を進めている。課題を踏まえ、モデル校を設置して効果的な導入を目指したい。



不登校児童・生徒の増加傾向に伴う対策



青山義明
自民党市議員

通学路の交通安全対策 について

問 近年、通学路において児童生徒を巻き込む痛ましい事故が起きているが、危険箇所の数と対策を伺う。

答 危険箇所は小中学校から97件の報告がある。また、蒲郡市通学路交通安全プログラムを策定し、交通安全プログラム推進室も加わり関係機関と連携し、対策を進めていく。

問 各学校からの要望内容と実施予算を伺う。

答 要望は歩道の設置及び拡幅が多く、予算は重点配分対象事業のため、補助率55%の国の交付金も活用して実施していく。

子ども会について

問 現状と問題を伺う。

答 子ども会は地域の



コミュニティの活発化につながり、異年齢の子ども同士だけでなく、友達の親や地域のお年寄りとも交流やふれあいが生まれる場となっている。加入率は平成4年度94%、令和4年度50%である。加入率の低下が問題で、子供の趣味や習い事などの生活環境の多様化、及び共働き世帯の増加や少子化などの役員のなり手不足が原因。

問 今後の展開を伺う。

答 小学6年生から大学生まで24人が所属するジュニアリーダーが子供たちの見本となり、組織の理想像となる機会をとらえ、両者の連携をサポートしていく。



柴田安彦
無会派

市営住宅について

問 現在の入居状況は。

答 現在の管理戸数は、政策空家64戸を含めて364戸であり、入居戸数は265戸で全体の入居率は73%である。

問 入居希望の低下をどう分析しているか。

答 住宅の老朽化による居住環境の魅力の低下と、エレベーターがないため上層階の部屋が不人気になっている。

問 募集状況がリアルタイムで分かるよう、空き状況をホームページに掲載してはどうか。

答 随時募集の部屋は、現在は窓口のみで周知を行っているが、今後はホームページにも掲載し、周知していく。

問 国土交通省から、保証人の確保が困難であることを理由に入居できない事態が生じな

いよう通知があった。条例から保証人規定を削除すべきではないか。

答 高齢化や単身世帯の増加により、今後、保証人制度が市営住宅に入居できない原因となる可能性も認識している。廃止した自治体の状況等を研究し、適切に対応していきたい。

問 買い物など、歩いて生活できる環境が見込める地域への移設を考えるべきではないか。

答 現在、新たな市営住宅を整備する計画はないが、新たな市営住宅の建設計画を検討する際には、立地場所の利便性も重要な検討事項になってくると考えている。



市営住宅



竹内滋泰
市政クラブ

令和5年度の予算編成 について

問 5年度予算編成の基本的な考え方を伺う。

答 市長就任1期目の最終年度となる。これまで蒲郡市民憲章を原点として施策を展開し、特に「子どもファースト」として、教育環境、子育て支援の充実に力を入れてきた。

4年度は「アフターコロナを見据えた未来投資型予算」と名付け、未来投資をスタートし、次年度以降さらに進めていく。

また、サーキュラシテイを進め、脱炭素社会の実現に向けたGX、行政のデジタル化等によるDX等に取り組んでいきたい。

問 病院事業会計について、4年度の決算見込みを伺う。

答 経常損益は、補助

金収入額が不確定要素として大きいものがあり、現状明確でないが、黒字決算を維持できると見込んでいる。

問 病院事業の5年度予算編成での、特に投資に対する考え方は。

答 新棟建設及び既存不適格改修工事に関する予算を計上予定である。

新棟建設等の進捗状況については、設計業務の事業者選定に係る公募型プロポーザルを4年10月に行い、11月に契約を締結した。既存不適格の改修工事は、7年度の新棟建設完了時までに終える必要があるため、5年度から順次進めていく。



市民病院



鈴木基夫
自由クラブ

環境・経済政策
について

問 プラスチックを再生可能な資源として循環させるにはどのような方向性か。

答 廃プラスチックを焼却して熱エネルギーとして利用するサーマリンリサイクル、プラスチック製品に再生利用するマテリアルリサイクル、化学原料として再生利用するケミカルリサイクルがあるが、二酸化炭素の排出を抑え、資源を循環させるリサイクルの仕組みが重要であり、資源循環や環境負荷の軽減が図られるマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルの比率を今以上に高める必要があると考える。



プラスチック資源循環促進法が施行されます

問 脱炭素に取り組みにあたり、何に重点を置いて企業同士の連携

等を考えているか。

答 サークュラーエコノミーの取組を加速していくためには、市内外を問わず、様々な事業者をマッチングさせることで、イノベーションを起こしていくことが重要と考えている。

公契約条例について

問 課題と問題点、今後のスケジュールは。

答 事業者の事務負担や公契約に係る労働者への周知が行き渡りにくいといった問題があるので、適切な労働環境を整備できるようにしていくことが大切である。3月定例会に条例案を提出したい。



尾崎広道
自由クラブ

観光道路等の維持
管理について

問 西浦町地内の観光道路への落石状況を伺う。

答 土地所有者が対策工事を施工するが、改善されない場合は市が道路に落石防止柵を設置する等の検討も行う。

横断歩道設置について

問 市道西名田的場1号線・西浦堂前浜田1号線（形西線）の横断歩道設置について、形西線沿いの消防署西部出張所建設中の付近への設置について伺う。

答 蒲郡警察署や地域住民と連携し交通安全

対策に取り組んでいく。

カインズ入口交差点
の信号機について

問 深夜でも形原側からポートレース蒲郡側へ向かう車線の青信号点灯時間が非常に短い理由を伺う。

答 蒲郡警察署によるとシヨッピングモールへ右折し進入する車両に考慮するためという理由であった。

問 鹿島大橋東交差点付近の通勤時の渋滞対策について市の考えを伺う。

答 国道247号の4車線化により、車両渋滞緩和と安全で円滑な道路交通の確保になると期待している。



大向正義
自民党市議団

旧統一教会について

問 蒲郡市名誉市民の中で旧統一教会と関係のある方がいるか、市は把握しているか。

答 現在、蒲郡市名誉市民は9名いるが、旧統一教会と関係がある方がいるかどうか、市として把握はしていない。

問 名誉市民として推挙した際、旧統一教会との関係を認識していたか。

答 名誉市民は9名いるが、旧統一教会と関係のある方がいるかどうか、市として把握はしていない。

問 鈴木エイト氏著書「自民党の統一教会汚染追跡3000日」によると、信者自身が素性を隠して地方選挙に出馬、幾人かは当選し、確認できているだけで

も本市や千葉県流山市、大阪市等で信者議員が誕生したという。著書の内容が真実であれば、平成15年の市議会議員の選挙で新たに当選した誰かが該当するのではないかと思うが、市はどう認識しているか。

答 市の事務とは直接関係ないため、答弁は控える。

問 元信者の証言として、そのときに初当選した市議会議員は旧統一教会の豊橋の教会長をしていたというが、市は認識をしているのか。

答 繰り返しとなるが、市の事務とは直接関係ないため、答弁は控える。

13	10	7	4	1
14	11	8	5	2
15	12	9	6	3



鎌田篤司
市政クラブ

近隣市町との連携強化について

問 近隣市町との連携強化に対する市長の考え方を伺う。

答 第五次蒲郡市総合計画の将来都市像「豊かな自然・一人ひとりが輝き・つながりあうまち」にある「つながり」を今年のキーワードとしてしている。近隣市町と「つながりあう」ことで、防災・産業・文化・スポーツなど様々な分野の連携をさらに深めたい。

SGグランプリレースについて

問 SGグランプリレースの誘致に向けて、施設面での整備状況を伺う。

答 令和4年度に競技エリアの整備棟及びボート庫を含めた一体整備が完了する。また、



ポートルース蒲郡

グランプリレースには60人の選手が出場するが、選手宿舎も収容可能となっている。

新型コロナウイルス感染症への対応

問 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が危惧される中、市民病院の年末年始の対応を伺う。

答 年末年始の職員の体制について、発熱者の増加も考えられるため、日勤の看護師一名を増員し、救急外来及び発熱外来を充実する。また、新型コロナウイルス感染症患者の経口抗ウイルス薬の「ゾコーバ」は、年内に供給される見込みである。



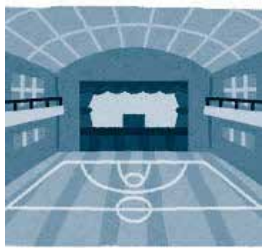
鈴木貴晶
自由クラブ

学校生活における環境の改善

問 子どもの健全育成にスポーツは欠かせないが、学校体育施設開放では練習の成果を発揮できる対外試合が制限されている状況である。令和4年6月定例会で対外試合ができるように求め、見直すとの答弁があったが、その後の検討状況は。

答 対外試合の実施について、各小中学校の意見を集約し、制度設計を進めている。一部駐車場の確保ができない等の学校があり、全小中学校での実施は難しいが、早ければ5年度から対外試合が実施できるように、規則改正等も含め、準備を進めている。

問 3年12月定例会で、学校からの連絡等のデジタル化に向けた取組



について質問し、5年度を目標に整備できるよう準備を進めるとの回答を得たが、現在の進捗状況は。

答 5年度中に、全小中学校への現行の出欠席システムを導入し、保護者及び教職員もデジタル対応に慣れる期間を取る必要があると考えている。また、アプリの導入に向けては学校に必要な機能やその運用方法等の検討を重ね、最適なものを取捨選択していく必要がある。児童生徒や保護者、教職員にとって有効で、無理のない導入を意識し、6年度中の実現を目指して、調査、研究を進める。



喚田孝博
市政クラブ

東港地区のまちづくりについて

問 ビジョン策定後の取組とその評価は。

答 これまでに3回のワークショップを開催した。「公民連携のまちづくり」を進める上で「まちを育てる人」としての市民同士がつながりあうきっかけができ始めている一方で、もっと多くの市民に知ってもらいたい関わってほしい。今後どのように進めていくのか。

答 令和5年度からは、どのような土地利用をしたいか具体的に決めるワークショップや社会実験等を行い、民間資金を活用した土地利用の可能性調査等による実現性のある事業スキームの検討を行い、土地利用計画の作成を



東港地区（同まちづくりビジョン概要版より）

進めていきたい。

学校教育について

問 特別支援学校設置についての考えは。

答 特別支援学校の小中学校を現存する小学校の改築時に、市立で併設し、高等部は市内県立高校内に分教室としての設置を県に要望していく考えである。

問 不登校児童生徒が増えている現状を踏まえ、要因、対応を考える上で保護者へのアンケート調査の実施をしてはどうか。

答 支援をしていく上で必要となれば、関係機関とも相談して慎重に対応を考えたい。



藤田裕喜
自民党市議団

森林空間の活用
について

問 森林サービス産業に関する施策について、どう考えているか。

答 市の森林整備計画においては、保健・レクリエーション機能の観点からも本市の目指すべき森林資源の姿を定めており、今後の活用等に当たっては、全国の取組事例等を参考に取組んでいきたい。

問 健康経営の一手段として、森林散策や森林浴、登山の活用を紹介し取り入れることについて、どう考えるか。

答 健康経営の支援として、関係各所と連携し、市内企業の健康宣言の推進や企業で取り組める健康づくり事業の情報提供を行っている。市として、例えば、健康宣言のメニューに健康の道・あさやけコ

ースを追加し、自然に触れた森林浴効果による従業員の健康増進や、自然を活用した柔軟な働き方を周知、提案できたらと考えている。

登山道や林道の整備、ルート案内看板やトイレの設置など、森林空間の活用のために、森林環境譲与税を使うことができるか。

答 森林環境譲与税の使途は、間伐等「森林の整備に関する施策」、人材の育成・確保や木材利用の促進・普及啓発等「森林の整備の促進に関する施策」とされている。具体的な活用方法は、全国の取組事例等を参考にしながら検討していきたい。



大場康謙
自民党市議団

市の農業施策の
今後の取組について

問 JA蒲郡市が新規農業参入者や農業後継者の確保に向けた取組として、令和5年2月から「蒲郡みかん塾」を開講すると聞いています。市の支援を伺う。

答 農業の担い手不足の解消につながることを期待しているのですが、事業継続に必要な支援を検討していきたい。

問 農地中間管理機構（ほ場整備）の概要を伺う。

答 農地中間管理機構が借り入れている農地を対象として、農家の費用負担等によることなく、県が行う基盤整備について国が支援する事業である。農家の高齢化等により農地中間管理機構への農地の貸出しが増加する中、農地が未整備の状態の

ため借り手が見つからず、担い手への利用集積が進まない等の現状の課題に対応するもの。

問 農地中間管理機構関連農地整備事業にかかると今後の取組は。

答 平成29年度に制度創設されたこともあり、本市のほ場整備事業に活用された実績はまだない。事業費に対する農家の負担額分が国から交付される等、これまでの制度と運用が異なる部分が多くある。今後、詳細な情報収集に努め、本市における課題等を整理し、神ノ郷南地区や東大塚地区を含め、本市での事業化への可能性について研究を進めていきたい。



蒲郡みかん



松本昌成
公明党市議団

在宅ターミナルケア
支援について

問 若年者（AYA世代）へのターミナルケア支援事業導入をすべきと考えるがいかがか。

答 若年者にはターミナルケアの支援制度がない中、支援の必要性はあると認識している。今後、先進地の取組を参考に研究する。

問 出産・子育て応援交付金について

答 すべての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう国は出産・子育て応援交付金を創設した。市の事業への思いを伺う。

問 妊娠・出産・子育てと切れ目なく、きめ細かい支援をしていきたい。また、市としては子どもファーストの理念に基づき、市民に

寄り添い、市民ニーズに即したこの交付金事業をスピーディーに展開していきたい。

問 小中学校体育館のエアコン設置について

答 人のいるところをピンポイントで冷却できる大風量スポットエアコンは、十分熱中症対策になり、台数も少なくて済むことから、もっとも手頃な方法と考える。早期の設置を望むが市の考えは。

答 スポットエアコンを本市の体育館に設置した場合、どの程度室温が下がるのか等検証が必要である。他市の状況も踏まえ調査、研究をしていきたい。



個人情報保護に関する法律施行条例を制定

12月定例会
議案

12月市議会定例会は、12月2日から14日までの13日間の会期で開き、議案19件を審議しました。個人情報保護に関する法律施行条例の制定など、主な内容をお知らせします。

条例の制定・改正

●個人情報保護に関する法律施行条例の制定 (第83号議案)

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、これまで条例に基づいて実施してきた本市の個人情報の取扱いを令和5年度から同法に基づいて実施するため、同法の施行に関し必要な事項を定めるものです。

●総務委員会での主な質疑

問 これまでの条例による取扱いからの変更点は何か。
答 基本的な部分はこれまでの取扱いが踏襲されますが、一部変更点もあります。大きく3点述べると、1

点目は、条例で規定している事項のうち、法律で規律されないものとして、思想、信条、宗教に関する個人情報等、いわゆるセンシティブ情報の収集制限の規定が法律では規律がされない等があります。

2点目は、個人情報を取り扱う事務を開始するときは、これまで個人情報取扱事務登録簿に登録をしてい

ましたが、今後は、個人情報ファイル簿を作成・公表する取扱いに変更されます。3点目は、蒲郡市個人情報保護審議会の役割が縮小され、法律の解釈・運用や監視等を行う組織が国の個人情報保護委員会に一元化されます。

●本会議での主な論点

賛成活発化する官民や地域の枠を超えたデータ活用に対応するため、別個の法令による規律により生じてきた旧法制の不均衡・不整合を是正するものである。法律で許容される範囲内で市独自の規定を設けるなど、個人情報保護に資する内

容となっており、妥当である。

反対思想、信条、宗教に関する個人情報の収集制限規定がなくなる等、現在の条例より後退する部分がある。また、要配慮個人情報に関し、社会的差別の恐れのある個人情報条例で追加して定めることについて、現在のところ市では収集してないので必要ないと答弁があったが、消極的な姿勢は改めるよう求める。

●児童遊園地の設置及び管理に関する条例の一部改正 (第84号議案)

奥林児童遊園地の位置を「竹谷町神田35番4」から「竹谷町道泉9番1」に移転します。

●文教委員会での主な質疑
問 移転する奥林児童遊園地には、どのような遊具を置く予定か。
答 元は塩津北保育園の園庭でしたので、使えるものは流用します。具体的には丸型うんていと鉄棒はそのまま残し、滑り台は場所を移して使用します。土管や登り棒、ジャングルジムなどは撤去し、ブランコも撤去しますが、新しいブランコを設置する予定です。

●市民体育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 (第85号議案)

市民体育センター武道館の大規模改造工事による施設及び設備器具の更新に伴い、使用料の改定等を行うものです。改定の内容は次ページの表のとおりです。また、武道館会議室を廃止します。

この条例は令和5年4月1日から施行となります。

12月定例会の日程

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 2日 | 本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕 |
| 5日 | 本会議〔一般質問など〕
議会運営委員会理事会
議会運営委員会 |
| 6日 | 本会議〔一般質問〕 |
| 7日 | 総務委員会 |
| 9日 | 議会運営委員会理事会
議会運営委員会
文教委員会 |
| 14日 | 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決〕 |

区 分			改定前	改定後
柔道場	専用利用	午 前	1,800	2,100
		午 後	3,300	3,900
		夜 間	4,800	5,700
	個人利用	1人1回につき	150	200
剣道場	専用利用	午 前	1,800	2,100
		午 後	3,300	3,900
		夜 間	4,800	5,700
	個人利用	1人1回につき	150	200

区 分			改定前	改定後
多目的 練習場	専用利用	午 前	1,300	1,500
		午 後	2,200	2,600
	個人利用	1人1回につき	150	200
		1人1月につき	1,500	2,000
トレーニング室	1人1回につき	150	200	
	1人1月につき	1,500	2,000	

武道館柔道場及び剣道場に係る冷暖房設備の使用料は、1時間につき1,200円とする。



改修中の市民体育センター武道館

ただし、公布の日から4月1日以後の利用許可を受けた者からは、改正後の条例に定める額の使用料を徴収することができるものとします。

文教委員会での主な質疑
問 本条例案は4月1日の施行となっているが、施設の利用予約はいつから開始となるか。
答 条例上、施設の予約は2か月前から可能なため、2月1日から開始します。

問 武道館会議室を廃止する理由は。また、廃止した後の部屋の利用予定は。
答 会議室として、ほとん

12月定例会で議決された令和4年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額	
一般会計 (第5号)	ふるさと蒲郡応援基金積立金	5億7千万円	14億5,028 万円	398億8,438 万円
	名鉄西浦駅待合所整備事業費	110万円		
	コロナ禍における原油価格・物価高騰等 総合緊急対策事業費 私立保育園等給食費軽減対策支援金	155万6千円		
	県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	9,268万円		
	市子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	1億180万5千円		
	農業者原油価格・物価高騰対策事業費	6,551万2千円		
	漁業者原油価格・物価高騰対策事業費	1,266万5千円		
	大河ドラマ「どうする家康」活用誘客事業費補助金	500万円		
市道下門前小敷塚1号線ほか1路線改良事業費	5,310万円			
一般会計 (第6号)	子育て世代包括支援センター事業費	8,501万円	8,501 万円	399億6,939 万円
国民健康保険 事業特別会計 (第2号)	一般被保険者療養給付費	2億7,935万1千円	3億1,495 万円	74億675 万円
	一般被保険者高額療養費	3,559万9千円		
下水道事業 会 (第2号)	収益的支出 委託料(下水道浄化センター等包括管理委託業務)	90万円	90 万円	23億6,670 万円
病院事業会計 (第2号)	収益的支出 燃料費	6,000万円	9,000 万円	101億3,340 万円
	委託料(産業廃棄物処理業務)	3,000万円		
モーターボート 競走事業会計 (第2号)	収益的支出 燃料費	1,900万円	1,900 万円	1,567億3,770 万円

ど利用がないためです。今後は備品倉庫として利用の予定です。

●本会議での主な論点
賛成 5年3月に完了する武道館の工事では、耐震化に加え、競技場床面の改修、空調機の設置等の施設改善

が行われ、受益者負担の観点からも利用者に応分の費用負担をお願いすることはやむをえないと考える。また、原価計算に加え他市との均衡等を考慮したものであり、利用者にも十分理解を得られると判断する。

反対 柔道場や剣道場の専用利用は、一番利用の多い夜間では900円も上がる。年金が下がる一方、物価がどんどん高くなり、実質賃金も下がって市民の生活は苦しくなっており、このようなときに市民の健康づく

委員会通信

公共施設マネジメント 実施計画に基づく 地区個別計画

12月7日に開かれた総務委員会において、大塚地区、三谷地区、蒲郡南地区及び蒲郡北地区の地区個別計画策定について報告がありました。

公共施設マネジメント実施計画では、施設が立地する地区の住民が主な利用者になる「地区利用型施設」に分類した施設について、地区の住民の意見を聞いた上で、中学校区単位で施設の再編計画である「地区個別計画」を策定することとしています。

今回の地区個別計画は、実施計画に基づき、大塚地区、三谷地区、蒲郡南地区（蒲郡中学校区）及び蒲郡北地区（中部中学校区）の地区利用型施設（小中学校、公民館、保育園及び児童館）の再編計画を示すものです。



実施計画に基づく地区個別計画

各地区個別計画のコンセプトは次の通りです。

- (1) 大塚地区
子育て機能を充実させ、「教育」と「交流」の拠点をつくる
- (2) 三谷地区
災害からの安全を確保し、まちの中心部に「教育」と「交流」の拠点をつくる
- (3) 蒲郡南地区
小学校区ごとのまとまりを維持し、「子育て」と「交流」の拠点をつくる
- (4) 蒲郡北地区
教育環境を向上させ、「子育て」と「交流」の拠点をつくる

東三河ごみ焼却施設広域化計画の見直しについて

12月9日に開かれた文教委員会において、東三河ごみ焼却施設広域化計画の見直しについて報告がありました。

東三河ごみ焼却施設広域化計画は、愛知県ごみ処理広域化・集約化計画によって位置づけられた東三河ブロック（豊川市、蒲郡市、新城市、北設広域事務組合）におけるごみ焼却施設等の広域化を推進するために策定しているものです。現在、平成24年3月の計画策定から10年が経過したため、本計画の見直しを進めており令和5年1月中旬からパブリックコメントを実施した上で、3月の改訂を予定しています。

計画期間は平成24年度から令和13年度までの20年間で、今回の見直しでは、広域処理体制案を、経済面に加え、災害時のリスクにおける優位性についても十分に評価し、また、二酸化炭素排出量や用地確保等を含



クリーンセンター

先進自治体等の事例を学ぶため次のおり行政視察を行いました。

○10月4日

- ・一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会
- ・一般財団法人日本モーターボート競走会、一般財団法人BOAT RACE振興会
- ・ポーターレース業界の現況と振興施策について

○11月8日から10日まで

- ・福岡県芦屋町／ポーターレース事業について
- ・佐賀県神埼市／歴史・文化遺産を活用した観光振興について

・山口県下関市／ポーターレース事業について、観光振興について

経済委員会 行政視察を行う

め総合的に評価しました。結果として、計画期間内の13年度までは現状の体制とし、次期計画期間内に新城市と北設地区を集約化した新施設の整備を目標とし、14年度には豊川市、蒲郡市及び新城市・北設地区の3体制構築を目指します。その後、豊川市と蒲郡市の焼却施設の耐用年数を勘案し、両施設を集約化した新施設の整備を目標とし、豊川市と蒲郡市で1体制、新城市と北設地区で1体制の構築を目指すとしています。



神崎市での視察の様子

議会日誌

9月29日から12月14日

10月

4日 経済委員会行政視察

11月

1日 議会運営委員会理事会

7日 議会運営委員会理事会

8日～10日 経済委員会行政視察

17日 議会運営委員会理事会

21日 12月定例会招集告示

議案説明会

25日 議会運営委員会

12月

2日～14日 12月定例会

14日 議会だより編集委員会

議会運営委員会理事会

3月市議会定例会は、2月27日(月)から開会する予定です。詳しい日程は、2月24日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所1階ロビーや市議会ホームページでもお知らせします。本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続をしてください。

3月定例会予定

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。



2023年卯年、明けましておめでとうございます。本年は県知事、県議会議員、市議会議員そして秋には市長選挙とあわただしい一年となります。市民の皆様の投票参加をお願いいたします。

さて、昨年は蒲郡市民憲章が昭和47年11月3日に制定され50周年を迎えました。この節目に戦争や核兵器のない平和で美しい地球を次世代に継承していくため、令和4年12月定例会で「非核平和都市宣言」が、全会一致で可決されました。

海外に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化。その影響による、原油価格、物価高騰。さらに、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が続いております。世界の平和と、市民の皆様の幸せを願って、議会活動を進めてまいります。



議会だよりをスマホへ配信します!

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料
です!



今月の紙 三河湾に輝く朝陽

新春の朝、三谷温泉の東方からまさに日が昇ってこようという瞬間です。三河湾を徐々に照らしていく朝陽を見ていると、新たな1年が始まるのだという実感が湧き上がってきます。

さて、令和3年に策定された、市の最上位計画である第五次蒲郡市総合計画では「豊かな自然 一人ひとりが輝き つながりあうまち～君が愛する蒲郡～」を将来都市像としています。この三河湾をはじめとする美しい自然とともに、自らが輝き、つながりあえる、そのような蒲郡を目指し、未来に向かってともに歩いていきましょう。